

日本維新の会共同代表橋下徹大阪市長の発言に対する抗議決議

去る5月13日、橋下徹日本維新の会共同代表は記者会見において、5月1日に普天間飛行場を視察した際に、米軍司令官に対し、「沖縄の風俗業をもっと活用すべきだ」と進言したことを明らかにした。

政党の代表者であり市長という公職にあるものが、風俗業活用発言や、「慰安婦制度は必要だった」との暴言ともいえる、幾重にも女性の人権と人間の尊厳を踏みにじる発言を繰り返していることは、まことに許し難いことである。

橋下氏は、米軍や米国民に対して発言を撤回し謝罪したが、沖縄県民に対しては謝罪していない。

県民はこれまで、米軍基地があるがゆえの、米兵による暴行事件や県民の尊い生命が奪われた事件・事故など、筆舌に尽くし難い苦しみと痛みの人権じゅうりんを、戦後67年間も強いられている。この県民感情を逆なでするかのような発言は、沖縄県民、とりわけ女性にとっては断じて許し難いものである。

よって本市議会は、怒りを込めて橋下日本維新の会共同代表・大阪市長の発言に抗議するとともに、発言の撤回と県民に対する謝罪を強く要求する。

以上、決議する。

平成25年6月21日
沖縄県豊見城市議会

あて先 橋下徹日本維新の会共同代表、大阪市長